

おきなわ

2010年 5月 ②

<基地のない平和で豊かな沖縄をめざす会 大阪>

住所 〒562-0025 大阪府箕面市粟生外院1-16 C-723

TEL&FAX 072 (729) 3472

E-mail okinawa-fall@orange.plala.or.jp

年会費 2000円 (会報代含む)

郵便振替 00970-6-244172

あまりにも幼すぎる鳩山政権にはお引取りを

総理大臣とは、日本においては政権政党の代表であり、党の代表であり、国民の代表です。それが「普天間基地の県外、国外移設は個人の発言で公約ではない」というのには、開いた口がふさがりません。これはあまりに幼いというべきでしょうか？それとも詐欺(サギ)というべきでしょうか？沖縄の世論を押さえこむために自衛艦を派遣した自公政権の安倍総理もひどかったです。鳩山総理も劣らずひどいです。とうとうアメリカの圧力に屈したのでしょうか。世界から相手にされないのもあたりまえ。7月の参議院選挙ではさっさとお引取りいただかなければいけません。

沖縄は「普天間基地の即時閉鎖・撤去」を要求一県民大会9万3700人



電車のない沖縄で、何時間もの渋滞を覚悟しながら2時間の集会のために炎天下、老人が杖をつき、母親が赤ん坊をかかえて参加するのがどんなに大変なことか。それを沖縄は65年間続けています。近年では大きなもので1995年、8万5000人、2007年、11万6000人。2009年、2万1000人。この4月25日、9万3700人。沖縄の世論調査では、「普天間基地をすぐ閉鎖、撤去し、辺野古新基地建設をストップ」の声は常に7割から8割。「お金は一銭もいらない、平和な空と陸と、きれいな海を!」、これが変わらない沖縄の民意です。

海兵隊が抑止力?

1960年の新安保条約で、山梨や、岐阜に駐留していた海兵隊は、沖縄に集中しました。現在問題となっている普天間基地は、その海兵隊の基地です。海兵隊の役目は「敵地へのなぐりこみ」。「抑止」というのは「敵が攻めてこないための防波堤」という意味ですから、侵攻部隊である海兵隊が「抑止力」のはずがありません。アメリカの海兵隊は日本の佐世保を母港として、6ヶ月周期で、沖縄、グアム、東南アジアを巡り、軍事・「人道支援」訓練をしています。沖縄に常駐してはおりません。しかも「お金がないから、他国の海兵隊を引き上げて、グアムに集中させる」ということが、2006年のアメリカ海軍の戦略で決められ、日本は昨年、それにもお金を出し始めています。

要らないけど、日本がくれるというからもらっとこか...アメリカの本音

外国の基地維持費に困っているアメリカが、「普天間の代わりに基地をくれ」というのは、思いやり予算と、新基地建設費が日本からもらえるから。身ぐるみはがれて苦しむのは、私たち国民だけ。イギリスも「アメリカいいなり」をやめようと動き始めています。鳩山政権もアメリカに従うより、国民の「命とくらし」を守るべきです。鳩山さんが日本の代表としてすべきことは、アメリカに次のことをはっきり言うことでしょう。

- 1、日本のどこにもアメリカの新基地は作らない、これが沖縄県内、県外の世論です
- 2、まずは国民のくらしが大事だから、アメリカにやる金はありません
- 3、子どもたちのために、これ以上基地による国土の環境破壊はできません